



こんにちは!!2010年度がスタートしました。今年度も一年間「連合後援会だより」を宜しくお願いいたします。今号では、本年3月に卒園卒業された保護者の方々からの「東学園での思い出」の投稿を頂いています。子どもだけでなく我々保護者にとっても素敵な学園だったのだな〜と、改めて実感いたします。では、今号をどうぞ(^\_^)v



# 武蔵野東学園 連合後援会だより

## 平成22年度連合後援会総会報告



去る4月20日(火)北原記念館スカラールームにて、各園校及びむらさき会の会長、役員、後援会会員、保護者、及び学園側からは理事長以下各園校の校長、教頭職他のお出席により、連合後援会総会並びにむらさき会総会が開催されました。

本会では、①平成21年度の事業・会計報告、承認②平成22年度の事業目標・会計予算、承認③各園校会長、五役選出・承認④各園校役員紹介が行われました。

本紙では②平成22年度の事業目標についてご紹介いたします。

### ■平成22年度事業目標の発表

#### 【連合後援会】

- ① 創立の精神を継承発展させるための活動
- ② ボストン東スクールとの交流活動
- ③ 学園後援組織の拡大充実

#### 【幼稚園】

- ① 連合後援会事業目標への協力
- ② 子どもを中心とした明るく温かい幼稚園づくりへの協力
- ③ 保護者の趣味や特技を生かした活動の推進
- ④ 地域と和やかな関係づくりの推進
- ⑤ MOTTAINAI運動の推進

#### 【小学校】

- ① 連合後援会事業目標への協力
- ② 『Joy Day』を含め、会員相互の輪を広げる活動の推進
- ③ MOTTAINAI運動の推進

#### 【中学校】

- ① 連合後援会事業目標への協力
- ② 生命科講演、職業観育成のための後援
- ③ 私学助成活動への協力

#### 【高等専修学校】

- ① 連合後援会事業目標への協力
- ② 学校行事への保護者の積極的な参加と教育への協力
- ③ 家庭での親と子の対話の充実

#### 【むらさき会】

- ① 連合後援会事業目標への協力
- ② 「すべての会員の子弟は我が子である」を合言葉に会運営の推進
- ③ 会員相互の理解と親睦を兼ねた行事の開催
  - ・むらさき親子運動会 5月22日(土)
  - ・保護者会—慰労会 5月22日(土)
  - ・保護者会—新年会 1月22日(土)
- ④ 「可能性をひろげて」の編集発行
- ⑤ むらさきOB会との連携(地域ネットワーク等)

### 幼稚園

卒園という区切りは入学への旅立ち。小学校へ向けての期待・成長への喜びと感謝の反面、とても寂しい気持ちでいっぱいだった3月。脱がせたくない制服、降ろしたくないバス、いつまでもこの光景を見ていたい、まだ幼稚園に通わせていたいと願ったものです。

卒園した今も改めて、充実した価値ある3年間であったと実感しています。とても素晴らしくかけがえのない時間の中で過ごせ、保護者としても多くの幸せをいただきました。様々な体験は感性を培い、経験は自信に繋がり、お友達との関わりや挨拶の大切さ、この幼少期の中で人としての礎が少なからず出来たように思います。

これからも「人の心の痛みが分かる優しい気持ち」「途中で諦めない強い気持ち」を持って、東っご精神を忘れず、感謝の気持ちが持てる人間に育って欲しいと思います。(A)

### 小学校

多くの人達に暖かく見守られる中、息子は今春小学校を卒業致しました。中学に入学後ひと月がたち、新しい生活に胸を躍らせながら勉強に部活動にと充実した日々を送っています。部屋の隅に置いてあるランドセルが随分小さく感じられ、ついこの間までこれを背負って学校に通っていたのが不思議な気がしてなりません。恥ずかしがりやで体も小さかった我が子が、6年間で心身共に大きく成長した姿を見て、思いもひとしおです。いつも周りには素晴らしい先生方や温かな仲間達が支えてくれて、息子もどんなに心強かったことでしょう。6年間で培った多くの貴重な体験が大きな力となり、自信を持って中学へ進んでいくことが出来たと思います。私自身も自分の小中学校時代を時々思い出しながら、子どもと一緒に喜び、驚き、笑って学校生活を思う存分満喫しております。心温まる東学園の教育、熱心な先生方、元気をたくさん与えてくれる子ども達に感謝の気持ちでいっぱいです。(K)

## 東学園を卒園卒業して

### 中学校

「卒業したくない!」と泣き臨んだ卒業式では、親子共々大きな感動と新生活へのエールをいただき、改めて「東中に入学して良かった」と実感出来ました。卒業式後しばらくは、東中の制服や卒業アルバムを眺めては感傷的になっていた娘も、今では「すごく楽しい」と目を輝かせて高校に通っています。

高校では、最初は東中との違い(毎日活動している部活がなく週1~4日だけ、担任の先生が甘すぎる、制服のスカートが短いなど)に驚きの連続でしたが、自ら自主学習ノートを準備したり、中間テストを前にプラン立てをしたりと東中で学んだ事を取り入れながら、新しい環境に順応しているようです。卒業式に校長先生がおっしゃった「東の心・精神をぶらさず」充実した高校生活を送って欲しいと願っています。(Y)

### 高等専修学校

息子は、高等専修学校の家政科調理専攻で、部活はラグビー部に所属し3年間を過ごし、今春卒業しました。13年間を学園で過ごし得たものは「きっと出来る。」という可能性と、「きつとなる。」という自信をいただいた事です。北原キヨ先生の教育の息づくこの学園の混合教育の中、先生方の応援やご指導と生徒達との学校生活で心も体も成長していきました。親としても多くの事を学び、子供と一緒に成長させていただけたことに感謝しています。

進路は学校の内外の実習で適性を見ながら家庭の様子、社会生活の適応も含め将来を先生と相談しながら、卒業生がいるアパレル関係の会社にお陰さまで務める事が出来ました。卒業生のジョブコーチにもお世話になり、東の教育の有難みを益々味わっています。きっとOBの皆様もそうであると思いますが、東の良さは時間が経ってからさらに実感するのではないかと思います。皆さんもどうぞ色々な場面で親子で学園生活を楽しんでお過ごし下さい。(N)

#### ●編集後記

今号はいかがでしたでしょうか?

3月に中学校卒業式に出席させていただきました。一番感じたことは「彼らが羨ましい!私、もし、中学時代に戻れたら東学園に入りたい!」。卒業証書授与後、各自が1分程度のスピーチがあるのですが、学園、先生、友人・仲間、そして親への感謝の辞を述べているのです。笑いあり、涙あり、そして感動的で素敵な卒業式でした。今の私の気持ちは、卒業生の親として早く立ち会いたい気持ちも半分、卒業が惜しいと思う気持ちも半分…、複雑です(^\_^;) (O)

#### ●編集委員会 (編集スタッフ)

高等専修	高田 尚美	小澤 恵美子
中学校	金子 マサ子	野内 陽子
小学校	平川 真弓	高橋 章子
幼稚園	野上 かおり	天野 英理
高等専修	桑原 厚	
中学校	大槻 敬	齊藤 良
小学校	家住 隆士	
	青柳 博行	



武蔵野東学園  
連合後援会だより

早くも次男の幼稚園生活も後一年になりました。父子ともに名残惜しい一年となります(子どもがあと一年だということを何処まで理解しているか疑問ですが)。お母様方がしっかりと後援会の屋台骨を支えて頂いている中、お父様方としてより密接な幼稚園行事との関係作りを進めています。究極の目標は「東幼稚園園児の父兄になることを憧れる」ような状況を作ることです。これまで多くの保護者の皆さんに出会うことができました。少しでもこの保護者の輪が拡がり、一大コミュニティとして学園の教職員の皆さんを支え、正に「後援」会としての盛り上がりの一助になればと思います。学園の発展は子ども達にとっての母校の発展、皆様方と共に前進を続けていきたいと思ひます。本年度どうぞ宜しくお願い致します。

昨年に引き続き、小学校の後援会長を務めさせていただき吉田です。よろしくお願い致します。子どもが2人とも小学校に通っていることもあって、自分が小学生の頃には、どうい子どもだったかなと時々考えたりします。息子と同じ5年生の頃は、お小遣いははたいは、プラモデルの戦車や戦艦ばかり作っていたように思ひます。また、怪盗ルパンや名探偵シャーロック・ホームズも大好きでした。とにかく、楽しいこと、やりたいことがたくさんあった年頃だったと記憶しています。東っ子の皆さんにも、保護者の皆さんと一緒に、Joy Dayや学園祭等を通じて、楽しい想い出をたくさん残してあげられたらいいなと思ひています。

この春より小学校後援会副会長を務めさせていただきことになりました、有田と申します。武蔵野東小学校に、娘(6年生)と息子(3年生)がお世話になっています。これまでも同学年の保護者の皆様と仲良くしていただいておりますが、これからはさらに縦のつながりを広げて、後援会がますます盛り上がるよう貢献したいと思ひます。これからの時代を担う子ども達には、自立心を持ち、他人に優しく、周囲から愛される人に育ててほしいと願っています。そんな子ども達に明るい未来を感じさせられるような大人でありたいと思ひています。後援会を通じ、今後ますます多くの方々とお話させていただくのを楽しみにしています。どうぞよろしくお願い致します。

むらさき会の会長を拝命しました白井です。皆様、よろしく願ひ致します。最近、森絵都さんの『カラフル』という小説を読みました。自閉症のことが書かれた本ではありません。ですが、何故、我が子が、自分が命を得て、どのような役割を担って生きるのか。人それぞれの個性を如何に尊重するのかを、大人になりかけた少年、少女を通じて、素朴なタッチで描いています。私は、東学園が半世紀をかけてチャレンジし、発展している混合教育にも通じる世界だと感じました。そして、様々な人の経験や東の教育から、「ヒントは周りに溢れている。大切なのは、それに気づき行動できるか」というYELLを頂いているように思ひます。これからも皆様と一緒に、混合教育を実践されている東学園を応援します。

## 幼稚園

入園前、兄から幼稚園の楽しさを教えられ、心弾ませていた息子のびかびか幼稚園がスタート。

入園式を終え、給食も始まり、ほっとした矢先に「明日、幼稚園休む。」と、言い始めました。理由は、兄と一緒に幼稚園に行かないことに気がついたみたいです。

園長先生から、浦島太郎状態になる子どもがいると聞いた日に、息子も始まったので、一般的に有ることなのだと理解出来ました。

泣きながら園バスに乗る姿を見るのは、かなり辛いことでしたが、家で先生や友達の話が増えると共に泣かなくなり、今では「お母さん、バスに遅れるよ!」と言われる始末。

これから3年間、先生方に支えられ、友達と沢山の思い出を作って成長してくれることを願ひます。(年少・E)

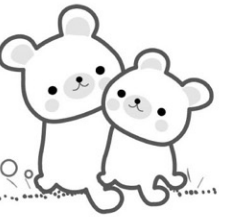
## 小学校

清々しい青空の広がる朝、入学式へと向かう道。私の前をやや緊張気味に勇み足で進む息子。慣れないランドセルの片肩はすぐ落ちてくるけれど、その後ろ姿はちょっぴり頼もしく、また可愛らしく。早いものであの日から2ヶ月が経ちました。革靴にバス通学、広い校舎に自分の机…新しい事だらけの毎日に戸惑いもあったことでしょう。けれど「今日は〇〇君と友達になった」「今日は先生が褒美の判子をくれた」と、私には威勢のよい報告ばかり。こうして息子が充実の時を過ごすことができるのは、先生方の温かいお導きと上級生の皆さんの優しいサポートのお蔭と深く感謝しております。

1日1日を大切に、そして戴いたご好意をいつか上級生として下級生にお返しできますように。

生まれて初めて出来た靴擦れは2ヶ月でしっかり硬い皮膚になりました。これからどんな6年を重ねてくれるのか、今から楽しみで仕方ありません。(小1・I)

## 東学園に入学して



## 中学校

『すてきな出会い』  
「お名前は?」入学式の日、同級生から声をかけられ満面の笑みで答える娘。教室に向かう姿に、先程までの緊張は感じられませんでした。皆様に温かく迎えられ、初めての学園生活を気持ちよくスタートできましたことを、親子共々心から感謝しております。

入学式から1ヶ月が経ちましたが、娘はマイペースながらも勉強、部活動に一生懸命励んでおります。元気なクラスメイト、朗らかで頼りがいのある先輩、いつも見守ってくださる先生方、職員の皆様。たくさんのお会いに感謝しながら、充実した学園生活を送ってほしいと願っております。東中の生徒として歩みはじめて娘を誇らしく思う今日この頃です。(中1・N)

## 高等専修学校

ついこの間、この高等専修の地下講堂(昔は本館の講堂でした)で東幼稚園の入園式が行われた気がしますが、あれから11年。あの時はこんなに落ち着いた息子の姿は想像できませんでした。

私よりずっと背が高くなり、ネクタイも自分で結び、プレザーの制服を着て毎日楽しそうに学校に行っています。息子は毎日好きなコンピューターの勉強ができ、自分で記入する青プランノートを書く事がとてもうれしいようです。書いている内容は「給食の〇〇が美味しかった」と、まだまだ幼稚なところも多いですが…。

高専に行く、いつでも生徒の方から爽やかに挨拶をしてくれます。そんな先輩達のように、人から愛される人となって、3年後社会へ出て行ってくれればと思います。(高1・O)

幼稚園後援会会長  
大野浩司



小学校後援会会長  
吉田行郷



小学校後援会副会長  
有田誠



むらさき会会長  
白井周平



武蔵野東学園の保護者の皆様こんにちは。新年度がスタートし、早いもので2ヶ月あまりが経とうとしております。そろそろ、新入生の東っ子たちも新しい東の学校生活に慣れてきたところではないでしょうか?東中学校の入学式での在校生代表生徒が、「私たちにおまかせください」と、新入生、その保護者の方々に先輩として力強く挨拶する場面に深く感動いたしました。私は後援会のお役を引き受け、15年目に入りましたが毎年毎年このような感動を与えてくれる東っ子たちに深く感謝しております。私たち後援会では、そのようなしっかりとした生徒たちの育成に力を注ぎチャレンジの機会を与えてくれる東中学校を応援していくために保護者の皆様のお力が必要でございます。今後とも後援会活動にご理解とご支援とご協力を宜しくお願いいたします。

# 会長



# 挨拶

さわやかな青空の下のびのびと農業実習する子ども達、「僕のバディーはこんな僕を頼りにしてくれる。」と自慢げに発表する男の子、「中学校で学校にあまり行けなかった子も、この学校なら大丈夫です。なぜなら、私もそうだったから」と誇らしく言える女の子、この努力や頑張りにつけ、子ども達にとって少しでもいい方向になれる事ができれば良いなと思ひます。会長を仰せつかつて、はや1年が過ぎました。愚息は今年度卒業を迎え、社会人となります。従いまして、私も最後の年となります。役員のみなさんの支えと、保護者のみなさんのご理解とご協力により、微力ながら悔いの無いよう、頑張りたいたいと思ひますので、宜しくお願い致します。

中学校後援会会長  
岩崎充利



高等専修学校後援会会長  
佐竹秀克



むらさき会副会長  
大槻敬

